

認知症の最新治療について

今回は脳神経内科で日本神経学会指導医・専門医の

野元正弘先生に「認知症の最新治療」について伺いました。



▲野元 正弘 医師

も大きな誘因は難聴です

(図2)。難聴の治療や

補聴器の使用は認知症から脳を守るために大事

な健康管理で、現在、耳鼻科では8030(80歳

で30dBを維持する…

ささやく声が聞こえる程度

運動が進められてい

ます。

物忘れしても一人での

生活が可能で介護の要ら

ず。

MCIの期間は約10年間

と言われており、この状

態を長く維持できると、

βが蓄積されていること

が確認されたら、これを

取り除く抗体薬で治療で

きるようになりました。

修正可能

55%

認知症の頻度と年齢

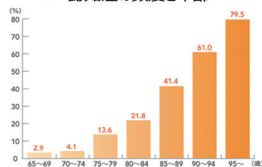


図1 出典 2021-2022年度 厚労科研費
認知症対策総合対策事業

認知症予防の14のポイント

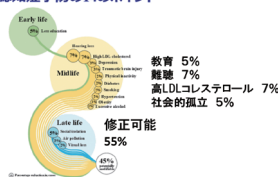


図2 出典 Lancet 2024

多少物忘れをしても認知症になることなく一生を過ごすことができます。
高脂血症や難聴の治療、運動・外出の維持など、健康に配慮して毎日をして一生を過ごしましょう。



社会福祉法人

關 済生会今治病院

☎0898-47-2500

今治市喜田村7丁目1番6号

<https://www.imabari.saiseikai.or.jp/>

